
第4章

観光振興の推進に向けて

1 取組の効果の把握と目標値

観光振興の取組を進めるには、定期的にその効果を把握し、進捗状況をわかりやすく共有し、計画の進捗管理や改善点の検討を行うことが必要です。

しかし、現状、本市の観光関連のデータは十分ではなく、今後、必要に応じて観光マーケティング調査を行うなどして、観光客の満足度、パブリシティ効果、経済波及効果などのデータを継続的に調査・整備することが今後の課題となっています。

現状で設定し得る本市の観光振興の効果を把握する指標と目標値を次のとおり示します。

指標と目標値

把握する効果	指標	現状 (2018 年度)	中間目標値 (2023 年度)	目標値 (2028 年度)
①住んでいる人が地域に誇りと幸せを感じているか	掛川市を住みやすいと感じる市民の割合※1	75.1%	80%	85%
	郷土の歴史や文化に誇りと愛着を持つ市民の割合※1	45.0%	55%	65%
②訪れた人が「また誰かと一緒に来たい」と感じているか	観光交流客数※2	3,861 千人	3,900 千人	4,100 千人
	掛川観光協会ウェブサイトへのアクセス数※3	687,621 件	701,000 件	712,000 件
	掛川市公式観光インスタグラムのフォロワー数※4	1,785 人	2,700 人	3,600 人
③他の産業や地域全体の活性化へ波及しているか	宿泊客数※3	570 千人	580 千人	605 千人
	新聞への記事掲載本数※5	1,401 本 (2017 年度)	1,500 本	1,600 本
	掛川市民所得※6	349 万円/人 (2015 年度)	380 万円/人	414 万円/人

※1 市民意識調査。2028 年度の値は第2次総合計画の最終目標値(平成 37 年度)とした。2023 年度の値は按分で算出した。

※2 2028 年度の値は、第2次総合計画の最終目標値である 2025 年度の 4,000 千人を参考とし、2023 年度の値は按分で算出した。

※3 2023 年度、2028 年度の値は観光交流客数の伸び率を乗じて算出した。

※4 アカウントの公開は 2017 年度。2028 年度の値は 2018 年 12 月 26 日現在。

※5 静岡新聞及び中日新聞への記事掲載本数。

※6 平成 27 年度しずおかけんの地域経済計算。2023 年度、2028 年度の値は平成 23 年度～平成 27 年度の 5 年分の増加傾向から算出した。

2 取組のスケジュールと実施主体

観光振興の取組は、次のようなスケジュールと実施主体で進めていきます。

■基本方針1

取組の柱	具体的な取組	実施期間		実施主体			
		前期	後期	行政	関連団体	事業者	市民
(1) 市民が地域を学ぶ機会の充実	①市民の学びの機会の充実	→		○			○
	②子どもの学びの機会の充実	→		○			○
	③次世代リーダー養成	→	→	○	○		○
(2) 市民の自発的な活動を通じた観光人材の育成	①市民の文化活動の活性化	→		○	○		○
	②報徳の教えと生涯学習を活用した観光人材の育成	→		○	○		
(3) まちづくり団体の活動の活発化	①地区まちづくり協議会の活動の活発化	→		○			○
	②市民団体の活動の活発化	→		○			○
(4) 地域資源の掘り起こし・磨き上げ	①花の名所づくり	→		○	○		
	②海や山のアクティビティの推進	→					
	③地域資源の掘り起こしと魅力の向上	→	→	○			
	④自然体験施設や団体の充実	→					
	⑤温泉施設を活用した周遊コースの設定	→					
	⑥地域独自ブランドの確立、伝統工芸品や地域特産品の消費拡大	→	→	○		○	
(5) 旅行会社への企画提案	①旅行会社への企画提案活動	→		○		○	
(6) マーケティング調査	①掛川への観光客のマーケティング調査	→		○		○	

■基本方針2

取組の柱	具体的な取組	実施期間		実施主体			
		前期	後期	行政	関連団体	事業者	市民
(1) 体験交流プログラムの充実	①製造業等の体験交流プログラムの充実	→	→		○	○	
	②文化体験交流プログラムの充実	→			○	○	
	③スポーツ体験(交流)プログラムの充実	→			○		○
	④自然観察会や星の鑑賞会の実施	→		○	○		
	⑤自転車愛好者向けのイベントやコースの充実	→			○	○	○
	⑥生涯学習と報徳文化の継承と活用	→		○	○		
(2) 食の体験の充実	①地元に愛されている飲食店の魅力向上	→			○	○	
	②地元グルメの普及と情報コミュニケーション力の活性化	→			○	○	
	③駅北中心市街地×食のイベントの推進	→					
	④農産物直売所の振興	→			○	○	
(3) 農業体験の充実	①農林業体験交流プログラムの充実	→					
	②農泊の推進	→				○	○
	③若い人が暮らす・学ぶ・働くを体験できる機会の検討	→	→				
	④観光農園の推進	→				○	○

■基本方針3

取組の柱	具体的な取組	実施期間		実施主体			
		前期	後期	行政	関連団体	事業者	市民
(1) 世界農業遺産「静岡の茶草場農法」の活用	① 粟ヶ岳で“世界農業遺産のまち掛川”を感じる体験の充実	→	→	○	○	○	
	② 茶草場周辺の景観の保全	→	→	○			
	③ 世界農業遺産関連団体との連携	→		○	○	○	
	④ 茶草場農法の推進	→	→	○	○	○	
(2) 掛川茶でもてなす場の充実	① おいしい掛川茶が飲める場所の充実	→			○	○	
	② 飲食店や宿泊施設での掛川茶のもてなしの推進	→			○	○	
	③ 掛川スタディを活かしたヘルスツーリズムの開発	→	→	○		○	
	④ 駅などの拠点で“茶のまち掛川”を感じる演出	→	→				
(3) 市民にも愛される掛川茶の名物づくり	① 掛川茶を使った名産品の磨き上げ	→			○	○	
	② 掛川茶にまつわる名物料理の発掘・開発	→	→		○	○	
	③ 茶文化プロジェクトによる他都市との連携	→		○			
(4) 掛川茶をテーマにしたイベントや運動の推進	① 広域から人を惹きつけるお茶イベントの充実	→		○	○	○	○
	② 緑茶で乾杯する新たな文化の醸成	→		○	○	○	○
	③ 将来の“掛川茶ファン”を育てる取組の推進	→			○	○	

■基本方針4

取組の柱	具体的な取組	実施期間		実施主体			
		前期	後期	行政	関連団体	事業者	市民
(1)お城及び 周辺の環境・景観の整備	①掛川城下地区の環境・景観の整備			○			○
	②高天神城の環境・景観の整備			○			
	③横須賀城の環境・景観の整備			○			
(2)街道の環境・景観の保全・整備	①遠州横須賀街道の環境・景観の保全・整備			○			○
	②街道の環境・景観の保全・整備			○			○
(3)歴史資源の活用	①歴史を活かしたテーマ別観光周遊ルートづくり			○	○		○
	②イベントによる来城のきっかけづくり			○			○
	③誰もが観光ガイドになれる歴史の学習機会の充実						
	④城の魅力をイメージで伝える工夫						
	⑤掛川城御殿の迎賓館としての活用検討						
(4)郷土芸能・伝統行事の伝承	①郷土芸能・伝統行事の保存と公開			○			○
	②祭りの担い手に観光客が参加できる仕組みの検討						○
(5)シティミュージアム掛川構想の推進	①シティミュージアム掛川構想の推進			○	○	○	○

■基本方針5

取組の柱	具体的な取組	実施期間		実施主体			
		前期	後期	行政	関連団体	事業者	市民
(1) 海外から訪れる方に向けた地域の魅力発信	①ラグビーワールドカップ等を契機とした情報発信	→		○	○		
	②モニターツアーの実施	→	→	○	○		
	③海外の方の興味を惹きつける取組の実施	→	→	○	○		
(2) 多言語対応の改善・強化	①各種案内の多言語表記への改善	→		○	○	○	
	②先端技術の活用による観光の支援	→		○	○	○	
	③外国語によるもてなしの推進	→			○	○	○
	④国際交流・国際相互理解の推進	→	→	○	○		○

■基本方針6

取組の柱	具体的な取組	実施期間		実施主体			
		前期	後期	行政	関連団体	事業者	市民
(1) 広域交通の利便性の向上	①富士山静岡空港からのアクセスの確保	→	→	○			
	②広域道路の整備	→	→	○			
(2) 地域間の交通利便性や周遊性の向上	①地域間道路の整備	→	→	○			
	②公共交通による地域間ネットワークの強化	→	→	○		○	○
	③サイクリング環境の向上	→			○	○	
	④交通結節点のバリアフリー化	→	→			○	
(3) 観光施設、案内サインの整備・改修	①観光施設の整備・改修	→	→	○	○	○	
	②公的な案内サインの整備・改修	→	→	○			
	③民間の屋外広告物の誘導	→	→	○		○	
(4) 周遊を促すサービスの提供	①掛川駅を起点とする市内周遊コースの充実	→			○		
	②周遊サービスの推進	→			○	○	
	③情報インフラ等の整備	→	→	○	○	○	

■基本方針7

取組の柱	具体的な取組	実施期間		実施主体			
		前期	後期	行政	関連団体	事業者	市民
(1)メディアを活用した情報の効果的な活用	①メディアミックスによる効果的な情報活用	→			○		
	②見やすく充実したホームページへの改善	→					
	③SNSによる情報コミュニケーション力の活性化	→			○		
	④ふるさと納税制度を活用した魅力向上	→		○			
	⑤掛川ゆかりの著名人を通じたプロモーションの推進	→		○			
	⑥フィルムコミッション活動の推進による地域資源の魅力向上	→		○			
(2)観光案内できる場所の充実	①駅などの拠点における観光案内サービスの充実	→			○		
	②観光案内できる場所の充実	→			○		

■基本方針8

取組の柱	具体的な取組	実施期間		実施主体			
		前期	後期	行政	関連団体	事業者	市民
(1)市内連携の強化	①各種事業者・団体の連携強化と情報誌等による魅力向上	→		○	○	○	○
	②市庁内の連携強化	→		○			
	③観光協会の組織力の強化	→			○		
	④観光客の安心・安全の確保	→		○	○	○	
(2) 広域連携の強化	①広域連携による観光商品づくり	→		○	○		
	②DMOの研究	→		○	○		

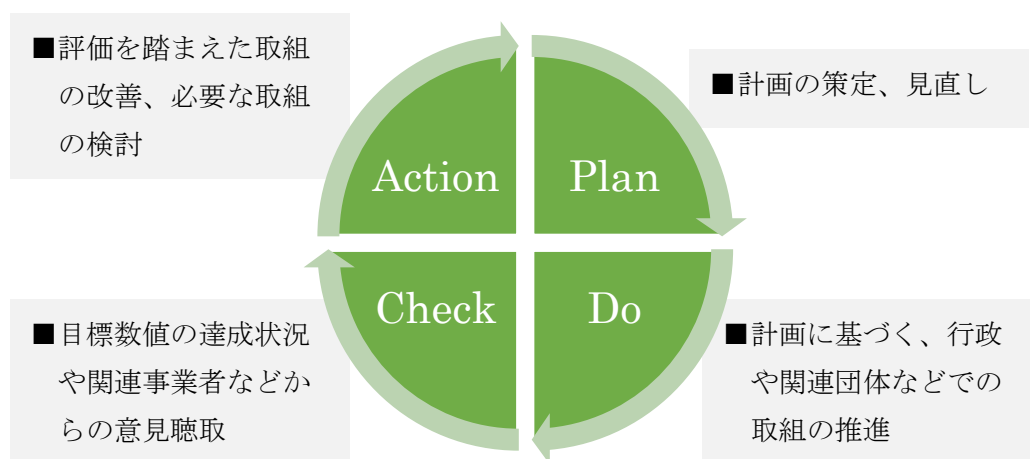
3 推進体制

行政、関係団体、事業者、市民が基本理念や方針を共有し、それぞれの役割を果たすとともに、連携、協働して本市の観光振興を進めます。

主体	主な役割
市民(市民、掛川ファン、自治会、地区まちづくり協議会、市民団体など)	・生涯学習の場などを通じて、地域資源の知識と誇りを持ち、訪れる人を温かくもてなす心と技を育む。 ・地域の清掃や緑化活動、伝統行事の継承、体験プログラムの受け入れ、口コミの拡散など、観光の担い手として活躍する。
関係団体	【観光協会】 ・観光案内や海外から訪れる方への対応、観光情報のコミュニケーション力の活性化、体験プログラムの企画運営などの自らの取組を推進する。 ・多様な主体の連携や調整を行うとともに、マーケティングからプロモーションまで総合的な観光振興を推進する。 【商工会議所・商工会】 ・観光客を起点とした地域の賑わいを創出するため、観光関連事業者への経営支援や商店街の活性化などの取組を進める。 【掛川茶振興協会など】 ・観光客をターゲットとした各事業者の取組への支援、団体自らの取組の主体的な推進、民間と行政のつなぎなどを行う。
事業者(観光施設、宿泊施設、飲食店、物産販売、交通事業者など)	【観光関連事業者】 ・観光の中心的役割を果たすことから、おもてなしと感謝の心で観光客を迎え入れ、観光客の満足度を高めるサービスを提供する。 【一般事業者】 ・地域資源を支えている農業や製造業なども重要であることから、一般消費者だけでなく観光客も視野に入れた産業振興に取り組む。
行政(観光担当課、関連各課)	・施策を推進していく体制としては、全ての関係課の係わりが必要となるため、観光担当課が中心となり、観光振興の施策に係る連携・調整を図る定期的な機会を確保する。 ・関連団体や周辺市町、国や県と協議し、連携して取組を積極的に進める。 ・市民に対して本計画の内容をわかりやすく伝えるとともに、取組の成果などをホームページなどでお知らせする。 ・公共施設の整備や管理、学校教育との連携、事業者や市民が取組を進めやすい環境づくりとして人材育成や各主体の連携支援を行う。 ・県外や海外に向けた知名度アップ、マスメディアへの対応など効果的な情報のコミュニケーション力の活性化を行う。

4 進行管理

本計画の推進にあたっては、PDCAサイクル(Plan:計画、Do:実行、Check:評価、Action:改善)に基づき、取組の実効性を高めるとともに、定期的な評価を行い、結果に応じて取組を見直し、改善していきます。



- ・ 評価にあたっては、本計画の目標値の達成状況や各取組の進捗評価だけでなく、市民や事業者などからの意見を聴くことも検討します。
- ・ 本計画の中間年次にあたる 2023 年度には目標値の検証と計画の中間見直しを行い、目標年次の 2028 年度に計画の見直しを行います。